

その困りごと、『見る力』の弱さが原因かもしれません。

ビジョントレーニング®

子どもたちが躓きや困難を感じることなく英語学習に臨み、習得できる EFY のユニバーサルデザイン英語教育。学習で躓きを感じやすい「読み」「書き」。EFY ではその「読み」「書き」に大きく関わる、脳のワーキングメモリと、視覚機能に注目しています。子どもの発達期にこそ重要な「見る力」のトレーニングしてみませんか？



視力がよくても『見えにくい』ことがあります。

視力検査では問題がないのに、音読や板書が苦手という悩みを抱えている子どもたちが増えています。「見る」ためには視線やピントを合わせたり、形や色を見分けたり、見たものを脳で処理して動かすというさまざまな能力が必要です。

「視覚機能」を正常に働かせる“ビジョントレーニング®”は、アメリカでの歴史が深く、日本でもスポーツ選手が取り入れたり、子どもたちの能力向上のために教育現場でも活かされ始めています。



こんな様子が見られたらお気軽にご相談ください。

『学習・運動が楽しくなるビジョントレーニング』北出勝也 (ナツメ社)



ビジョントレーニング®で育つ7つの力



気づかれにくい『見えにくさ』の問題とは？

見えにくさの問題がやっかいなのは、本人も周りの大人も、それに気づきにくいところです。本人は他人と見え方を比べることができない上に、小さい頃からその状態で生活しているので、見え方がおかしいと自覚するのは難しいのです。

視覚機能の問題は認知度も低く、検査や診断ができる専門家も日本にはごくわずかです。しかし、理解のある誰かしらが、適切なトレーニング®を始めてあげることができれば効果は必ずあらわれます。



ビジョントレーニング®の流れ

※すべてのステップを北出勝也先生監修により行います。

視覚機能チェック (15分~) | 1回30分 無料



トレーニングが効果的に機能するかどうか視覚機能チェックテストを行います。

カウンセリング (15分~)



ご本人とお家の方に、今後のトレーニングについてご説明致します。

ビジョントレーニング®開始 (~数ヶ月)

①眼球運動 ②視空間認知 ③眼と体のチームワーク
3つのトレーニングを家庭とEFYで継続して行います。

1回30分 3,000円 (税別)

視覚機能トレーナー 北出勝也先生

米帰国後国の大学院にてオプトメトリスト(検眼士)資格を取得。ビジョントレーニングに取り組み、兵庫県特別支援相談員、視覚特別支援学校講師などを務める。「視覚トレーニングにより、学習能力・集中力がアップする」と、学校現場やマスコミ等でも注目。プロボクサー村田諒太選手のトレーニング指導を担当。



英語に限らず、漢字の書き取りや国語の教科書の音読など、文字に関して気になることがありましたらどんなことでもお気軽にお問い合わせください。(担当 三木玲子)